

梶原町社協だより

# ゆすまいる



**第12号**

**(平成28年9月)**

## 目次

- 赤い羽根共同募金／法人後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1P
- ゆすはら複合福祉施設設立準備室よりお知らせ・・・・・・・・・・2P
- 地域福祉コーディネーターって何をしているの？・・・・・・・・3~4P
- 笑顔つながれ!!輪ッハッハ~町内各種団体リレー~・・・・・・・・・・5P
- 老人クラブよりお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6P
- 掲示板 (リユースゆすはらについて・就労準備支援事業)



## ゆすはら複合福祉施設 設立準備室よりお知らせ

### 【お問合せ】

社会福祉法人梶原町社会福祉協議会  
施設設立準備室（担当）立道・山田  
電話 0889-65-1236 FAX 0889-65-1237

### 【職員採用試験について】

ゆすはら複合福祉施設スタッフとして従事していただく、平成29年度職員採用試験を実施いたしました。

このたびの試験では、事務職、看護職、介護職、栄養士の募集を行い、それぞれの職種において、採用内定者を決定いたしました。たくさんの皆さまにご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。

本試験の内定者は、平成29年4月に採用となり、平成30年3月オープンまでの期間、研修や運営の準備を行う計画です。

また、すでに部落回覧等でお知らせいたしました、4年制大学、短期大学、専修学校を2017年春卒業見込みの方（いずれも学部学科は不問）を対象とした採用試験を、10月16日に実施いたします。

### 【ふくし就職フェアに出展（高知市文化プラザかるぽーと）】

8月13日に、「高知市文化プラザかるぽーと」において開催された、「ふくし就職フェア」に出展いたしました。当日は、県内の福祉関係事業所等に就職を希望する参加者263名の来場があり、大変なにぎわいとなりました。

また、本フェアの中で、14団体が参加してのプレゼンテーションにもエントリーし、本福祉施設の魅力とあわせて、本町の暮らしについて広くPRを行いました。この日は特に、2017年春に卒業予定の大学生や専門学校生が多く参加しており、当法人ブースにも19名の相談がありました。相談者からは、具体的な相談や質問もあり、また、他の事業者の状況についても意見交換を行うことが出来、大変収穫の多いフェアとなりました。



▲ プレゼンテーションの様子



▲ 梶原町社協のブースの様子

# 赤い羽根共同募金

## 赤い羽根共同募金の募集が 今年10月から始まります！



この共同募金は、都道府県ごとに行われ、寄付した皆さんの地域で役立てられている募金です。災害の時などの例外を除き、集まった募金はその県内で使いみちが決められています。梶原町で集められた募金の7割は梶原町内で使われ、3割は高知県内（梶原町を含む）で使われます。

具体的に梶原町では、どんなことに使われているのでしょうか。

- 毎月、独居高齢者等に励ましや近況をつづったはがきを郵送する事業に使われています。
- 集落単位で、会食を通じた交流を促進する事業に使われています。（旧ミニいきいき）
- 年1回、梶原町ボランティアつば会による、独居高齢者への配食と安否確認に使われています。
- 年1回、まごころ弁当実行委員会が運営し、ボランティアが町内満80歳以上の在宅高齢者への手作り弁当を届けながら、ふれあいの時間を作っています。
- 年間を通して、梶原町の災害ボランティアセンター立ち上げの準備資材、及び災害時のボランティアスタッフの養成を行う事業に使われています。



昭和22（1947）年にスタートした共同募金運動は、今年70回目を迎えます。これまで、社会課題を解決するための活動や、様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成を行ってきました。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

## 法人後見事業

今回は権利擁護について考えてみたいと思います。権利擁護と聞き皆さんが思いつきますか。子どもや障害者、高齢者の権利擁護。虐待防止法。日本国憲法。意思決定支援など、人によって思いつくものは様々だと思います。ちなみに辞書等で調べると、『自己の権利を表明することが困難な高齢者、認知症高齢者、障害者の代わりに代弁者が権利を表明する事』と、書かれています。では、権利とは何でしょうか。辞書には、『ある物事を自分の意志によって自由に言ったり、他人に要求したりすることのできる能力』と書かれています。つまり、権利擁護とは、『自ら意思表示できない方に代わり、その人の要求を表明する』ということになるのでしょうか。でも、自ら意思表示できない方の要求を図ることはなかなか難しくそうですよね。その方をよく知る家族や知人であればなんとなくわかるかもしれませんが、それは、例えば本人が元気であった時の事で、現時点の要求は言わば推測の域です。

権利擁護について考えてみよう

でも、どうにかしてその人の意志を代弁する必要がある可能性は大いにあります。もっと言えば、意思を代弁する人の家族や知人が全く居ない場合も考えられると思います。どうしましょう・・・。そう考えると権利擁護とは、「その人の考えを代弁する事」と、簡単には言えるけどなかなか難しいことだと思えます。

今年度より梶原町社協が始めた法人後見事業も、権利擁護の一つの手段です。私達は対象者がどのような状態であっても、その人のこれまでとこれからの人生を想像し、よりよい支援をしていく責務があると思います。次回は事例を取り上げて、権利擁護についても少し考えてみたいと思います。



# 地域福祉コーディネーターって何をしているの？

今年度より各区に配置した『地域福祉コーディネーター』ですが、これから関わる区の方は、知らない方も多く戸惑いを感じられているかもしれません。これまでの様子を踏まえ、日ごろの活動をご紹介します。

## すべては地域の笑顔のために

さまざまな活動やサービスを通して、地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助られたりする関係や仕組みをつくっていくことを目指します。

社協がすべての不安や困りごとを解消することはできないけれど、不安がひとつでも減っていくことで、地域みんなが笑顔になれる。わたしたちはそのために、日々取り組んでいます。



### 個別訪問

地域のお宅をまわってお話をさせて頂き、生活の様子を伺ったり、地域の情報を集めたりします。また、今は困っていないくても、社協の事を知ってもらっていることで、困った時に相談してもらえるような関係を目指して訪問しています。地域で職員を見かけた際にはぜひ気軽に声をかけてください。必要な人へ、必要なサービスや情報が届けられるよう、みなさんも地域で気になることがあったら教えてください。

### 相談援助

生活での困り事を伺いすぐに対応できるものもあれば、サービスや制度の有無を確認し、役場や病院など必要な機関と連携して対応を考えます。



### 部落会・地域の集まりへの参加

地域の集まりに参加し、地域の行事や人について教えて頂き、関係をつくることを目指します。お酒を楽しく飲む場もあるので、地域に対する思いや昔の話など貴重なお話を伺える機会となっています。

また、社協からの情報提供をさせて頂くこともあります。

### 地域活動のサポート

地域で「こんなことができる」「やってみようや」という思いを応援します。情報の提供や話し合いの場のサポート、地域の方々の活動を支援します。逆に、一緒に活動へ参加し、社協が勉強させて頂くこともあります。

「ここに住んで良かった」「住み続けたい」と思える地域づくりを共に考えます。

丸野公園散策の様子（四万川）▶



## 座談会

地域の課題に目を向けて、地域に必要なもの・できることを、地域の方々と一緒に考えます。また、意見を出し合うことで、住民同士の意見の共有の場になっています。

模造紙と付箋を使い、思いの『見える化』を行うことで、出された地域の思いをいつでも確認しあえるようにしたり、思いを具体的に話し合い活動につなげたりします。

- ▶ 座談会をきっかけにこんなことができるよ
- 部落の防災マップづくり
- 緊急連絡網を活用した誕生日おめでとうコール
- みんなで楽しく集える場づくり など



今年度、地域福祉活動計画の策定に取り組みます。



本年度社協では、保健福祉支援センターと連携し、地域福祉計画の改定に合わせて、地域福祉活動計画を一体的に策定しています。

社協では、各部落で行っていただいているワークショップで出てきた地域課題をもとに、地域福祉活動計画を策定していきます。

そのため、お住まいで行っていただいたワークショップで出てきた地域課題に対して、さらに詳しく話し合いをし、誰もが安心して暮らせる地域課題に取り組みたいという部落があればぜひお声かけください。また、社協から声をおかけする部落もあると思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。



# 老人クラブで



## 一緒に活動してみませんか～？

梶原町老人クラブ連合会は、14 単位クラブ 406 人(平成 28 年4月現在)が「友愛・健康・社会奉仕」を基本理念に、通年を通して活動をしています。

運動、踊りや歌を通して他の会員との**交流**を深めたい、お茶を飲みながらお話を**楽しんだい**と、それぞれの趣味趣向に併せて、今よりもさらに**いきいきした生活**が送れる事を目指しています。

また、地域の中で毎年、清掃活動を行い**社会に奉仕**する気持ちも大切にしています。夢中になれる活動をお探しの方！少しでも興味を持たれた方！老人クラブで一緒に活動してみませんか？

加入希望者はお近くの単位老人クラブまたは事務局(梶原町社会福祉協議会)までご連絡ください。



体育大会



子どもたちと交流



グランドゴルフ



にこにこ喫茶



芸能大会



研修会



高幡老連交流会



これ以外にもたくさんの活動があります！  
みなさん、ぜひ老人クラブで一緒に活動しましょう♪



## 笑顔つながれ!! 輪 ッ ハ ッ ハ ～町内各種団体紹介リレー～



前回の梶原町人権教育研究協議会前会長の堅田謙洋さんにご紹介頂き、今回は 梶原町学校応援団 志手 功 さん にインタビューしました。

※予定を変更し、志手さんにインタビューをしました。

\* \* \*

長く地域の子どもたちに関わってこられた志手さんの活動に対する思いをお伺いしました。学校応援団での活動について聞く中で、志手さんらしい、子ども達や地域に対する思いやりが感じられました。

宇賀 よろしくお願ひします！まずは学校応援団のことについて教えてください。

という指導もしています。

志手 梶原学園にある組織で、コーディネーターの中越洋子さんを中心に、個人や団体など約 35 人が登録をして活動しています。

宇賀 取り組みを続けていく上での目標や思いを教えてください。

学校応援団は大きく3つの部会に分かれています。一つは【学校支援部会】と言って、きっかけは違いますが、私が行っている登下校の旗振りはこの部会の関係になります。二つ目が【放課後子ども部会】と言って、小学生を対象に放課後や夏休みにこどもの預かりをしています。『絵本の小部屋』さんが読み聞かせや手品をしたり、私たちもコーディネーターさんから声をかけてもらって、子どもたちと一緒に昔遊びをしたりしています。三つ目が【地域活動部会】で、編み物や和太鼓などが得意な地域のひとを先生にして、教室を開いています。組織としての登録は少数ですが、コーディネーターが調整をして、地域みんなで取り組みを行っています。

志手 事故のないように、元気な挨拶して登校できるようにということです。そのことによって子どもの自主性ができて、知らん人にもちゃんと「おはよう」「いただきます」とか人間の基本的なことを身に付けてもらいたいです。梶高の野球部の子が元気に挨拶してくれるのは、受けた方も気持ちがいいよね。今日も頑張ろうって思えます。

田舎だからこそ人のつながりが密接だし、高齢者の生きがい・やりがいの気持ちを高めていくのと子どもを成長させていこうというのは、年齢層が違うけど根本は同じやと思います。

西村 志手さんが関わるきっかけは何でしたか？

毎日挨拶しているから子どもの変化に気づけるし、子どもも顔見知りになって話しかけてくる子もいます。子どもはほんとに可愛いです！（笑）

志手 たまたま。役職が好きでね、僕の辞書に「断る」という文字はないからね（笑）

4000 人足らずの人口で、お年寄りも子どもも、みんなが繋がらないと成り立っていかんと思います。世代間の交流をしてはじめて地域が活性化すると思っています。

西村 取り組んでみてどうでしたか？

西村 では最後にひとこと、お願いします。

志手 1 年生が入ってきて最初は自分から「おはよう」って挨拶がなかなかできなかった子も、こっちから声をかけていくうちに自然と挨拶ができてきて2、3 年生になったら、自分から声をかけていくようになって日々成長していく姿をみるのは楽しみです。交通量も多いし、飛び出して何回もひかれそうになった子もいる。「ここに止まって右と左を確認して渡りなさい。」

志手 みんなで地域の子どもに声掛けをしたり、立場とか関係なくみんなで『地域の宝である子ども』を育てていきましょう！！

宇賀・西村 ありがとうございました！

次回は 梶原町三障害者団体協議会  
高橋 正知さん です！お楽しみに！

# 掲 示 板

## リユース ゆすはら

★今回は9月末まで「**物品提供者**」を募集  
しています！

**オレンジ色の登録用紙**に必要事項を記  
入して、リユースゆすはらのポストに投函  
下さい。

**こんなもの、ゆずってほしいな～**(リストの一部です)

- ・梶原学園制服、体操服
- ・ミシン
- ・冷蔵庫
- ・ティラー(管理機)
- ・ベビーカー など

※「ゆずってほしいな～」リストは8月の部落回覧  
でお回ししています。参考に載せていますので、も  
っと見たいという方は社協までお問い合わせを！

**こんなものを必要な方にお渡しできました！**

・セニアカー

・三輪車

・電化製品



登録用紙はポストの  
場所に置いてあります



もっと見たい方は→ お問い合わせ：梶原町社協 ☎65-1235 【担当：玉川、松本】

## 就労準備支援事業(就労体験) 受入れへのご協力をお願いします。

梶原町内には、様々な事情で仕事をしたくても仕事につけていない方々が少  
なからずおられます。梶原町社協ではそうした方々への、就労支援の取組みと  
して、短期の就労体験を経て仕事をすることに慣れるとともに、意欲が高まる  
ことで就労へ一歩踏み出すお手伝いをしたいと考えています。

就労準備支援事業(就労体験)は、高知県が高知県社会福祉協議会に委託し  
て実施している事業で、梶原町社協での支援決定に基づき、就労体験を受け入  
れていただける事業所に、就労体験の実施をお願いするものです。詳しくはお  
気軽にお問い合わせください。

担当：玉川

写真が好きな方  
必見です！

## 表紙に載せる写真を募集しています！！

いつも梶原町社協広報誌「ゆすまいる」を見て頂きありがとうございます。  
いま、「ゆすまいる」では表紙に載せる写真を募集しています。「梶原」「笑顔」をテーマに、笑った人が写った写真、笑いたく  
なる写真、梶原町の景色、生き物などの写真を提供頂けたらと思います。  
構わない方は、社協職員に声をかける、又は社協までお問い合わせく  
ださい。

担当：宇賀・西村・中越(悠)

